

ドキュメンタリー作品 UNFOLLOWING

早稲田大学政治経済学部政治学科
映像ジャーナリズム・高橋恭子ゼミナール
4年神山かおり

概要

街を歩けば痩せたマネキンや広告のモデルがそこかしこに溢れ、電車に乗ればダイエット広告がところせましと貼ってある。SNSを開けばジムやサプリの広告が、今が痩せどきであると焦燥感を煽ってくる。現代の日本では「痩せ願望」は生活と切り離しては生きていけないほど身近なものになっている。しかし甘いものや高カロリーのもを食すことが罪悪感を抱かせるこの文化を生み出している、根源にある構造を疑う者はどれだけいるだろうか。本ドキュメンタリー「UNFOLLOWING」は、一度立ち止まってそうした構造を考察することによって、身体を持って生活する我々がマーケットの戦略に踊らされて健康を損なっている現状を問題視し、これからの対策を考えるきっかけになることを目的に作成したものである。本論文では、まず第1章で文化人類学という学問の視座と、ドキュメンタリーの手法を用いて行われるエスノグラフィーという分野について解説する。次章では現代の日本における摂食障害の現状から問題点を明らかにし、インタビューを行った文化人類学者磯・磯野真穂さんの著書「ダイエット幻想」の提唱する概念を用いて分析を行う。第3章では国際的な動きを見せている、痩せすぎモデルの規制について現存の例を紹介した上で、日本における今後の展望に言及する。